

こんな活動です

「地域と共に歩む学校」を実現するための連携・協働

福島県大玉村	●活動名	●関係する学校名
	大玉村地域学校協働本部	大玉村立大玉中学校 大玉村立玉井小学校 大玉村立大山小学校 大玉村立玉井幼稚園 大玉村立大山幼稚園

協働活動開始年度	平成 30 年度	関係学校数	5 校	のべ学級数	44 学級	のべ児童・生徒数	1052 人
活動区分	学校支援活動	—		—		—	
	地域未来塾	放課後子供教室		—		—	
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数	地域学校協働活動推進員等の数	配置人数		—		
	1人	—	2人		—		
学校運営協議会	指定・設置日	ボランティアの数	延べ登録人数	企業・NPO等との連携	無		
	平成23年4月1日設置	—	172人	—	—		
参考URL	https://www.vill.otama.fukushima.jp/kyouiku_bunka/gotama_kyouiku/chihikigakkou_kvoudouhonbu/						

●連絡先	大玉村教育委員会 教育部 生涯学習課	☎ 0243-48-3139
------	--------------------	----------------

●体制図

●活動の概要・経緯

平成21年5月、本の読み聞かせや校外活動の補助、環境整備等の学校への支援のための学校支援ボランティア活動を開始。同年9月には、学習やスポーツ等さまざまな体験学習を通じて、子どもの安全な居場所の確保のための放課後子ども教室活動を開始。平成29年度から「大玉村学校支援地域本部」から「大玉村地域学校協働本部」へ名称を変更し、協働活動、学校支援、放課後子ども教室の3つの柱により、より多くのより幅広い層の地域住民、団体等が参画を呼びかけ、従来の「支援」から「連携・協働」へ、「個別」から「総合化・ネットワーク化」を目指している。

● 活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

- ① 村行事(交通安全鼓笛隊パレードや村防災訓練等)や公民館事業へ参画し、地域との関わりを取り入れた学習活動を実践している。
- ② 協働活動、学校支援、放課後子ども教室の各ボランティアの垣根を超えて(兼務)活動することにより、子ども達と顔が見える活動ができる。
- ③ 放課後児童クラブ(1～6年生対象)と放課後子ども教室(4～6年生対象)で子どもの居場所づくりのため全学年をサポートしている。
- ④ 幼・小・中一貫的教育構想の実現に向けて、大玉村地域学校協働本部とおおたま学園コミュニティ・スクール委員会との、2大パッケージにより、連携を強化することで、充実した子どもたちの豊かな学びを支えている。
- ⑤ 「共に学ぶ『おおたま未来塾』」では、主に中学3年生の学習支援のため、地域住民や大学生等の講師による学習サポーター事業を開催している。

【実施に当たっての工夫】

「大玉らしさを生かした地域学校協働活動の推進」にむけて、地域学校協働活動、学校支援ボランティア、放課後子ども教室に各コーディネーターを1名配置し、地域・学校・家庭が一体となり、より多くの地域住民等の関わりによって、子どもたちの豊かな学びを支え育むとともに、大人も共に学び合う(学びの還元と循環)活動を実施した。また、地域の資源(人・もの・こと)を最大限に生かしつつ、子どもも大人も地域を知ってもらおう活動も併せて行っている。

● 地域学校協働活動を実施しての効果・成果

地域学校協働活動モデル地区として3年目を迎え、少しずつではあるが、地域と学校が共に歩み寄りながらの事業が展開されている。そのひとつが、大玉中学校生徒が企画立案した「おおたまコミュニティ・フェスタ」の開催。おおたま夏まつりの前夜祭イベントとして、ステージでの催しや屋台販売などを自ら考え、大玉村商工会青年部並びに大玉村地域学校協働本部が共に参画し、地域の元気発信の基盤づくりが生まれてきた。また、中学3年生の学習支援を目的とした「共に学ぶ『おおたま未来塾』」(夏季休業時には、小学5・6年生を対象とした未来塾も開設)の開催により、地域全体で児童生徒の学力の向上を図るとともに、地域社会の活性化にも寄与している。

● その他

金曜日は放課後の子どもたちの安全な居場所づくりのため、平成21年より放課後子ども教室を開催。小学4～6年生を対象に、野菜の苗植えやスポーツ、食育等の活動を行っている。3年生以下については、村社会福祉協議会の「放課後児童クラブ」で全学年を網羅している。



さ
地
つ
ま
い
の
ポ
ラ
ン
テ
ィ
ア
と
一
緒
に
苗
植
え
(
玉
井
)



流
し
ソ
ー
メ
ン
に
使
う
竹
を
自
分
た
ち
で
加
工
・
組
立
て
(
大
山
)